

平成 25 年 (2013 年)

[I] 著 書

- 1) 文野誠久, 辻 悠佑, 田尻達郎. 新生児編 CT 診断 B.その他 腹部の CT 診断. 周産期医学 43 巻増刊 周産期の画像診断 第 2 版 東京 東京医学社 : 562-566, 2013.

[II] 総 説

- 1) 田尻 達郎. 小児がん. 日本癌治療学会誌 48 : 401-415, 2013.
- 2) 前田貢作, 田尻達郎, 杉藤公信, 大植孝治, 佐藤智行, 伊勢一哉, 小野 滋, 平井みさ子, 小倉 薫, 脇坂宗親, 本多昌平, 近藤知史, 杉山正彦, 菱木知郎, 仲谷健吾, 上原秀一郎, 上松瀬 新, 木下 義晶, 日本小児外科学会悪性腫瘍委員会 : 小児の外科的悪性腫瘍, 2011 年登録症例の全国集計結果の報告. 日本小児外科学会雑誌 49 : 70-105, 2013.
- 3) 青井重善, 木村 修, 樋口恒司, 古川泰三, 田尻達郎. 学童の便失禁. 小児外科 45 : 203-207, 2013.
- 4) 樋口恒司, 木村 修, 田尻達郎. 体表面の腫瘍 外来で遭遇する比較的稀な腫瘍. 臨床外科 68 : 556-560, 2013.
- 5) 文野誠久, 木村 修, 千葉史子, 樋口恒司, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎. 小腸不全に対する中心静脈カテーテル管理—venous sparing strategy. 小児外科 45 : 463-466, 2013.
- 6) 木村 修, 樋口恒司, 古川泰三, 田尻達郎. 胸腔鏡下横隔膜縫縮術 (両側一期手術). 小児外科 45 : 583-587, 2013.
- 7) 前田貢作, 田尻達郎, 大植孝治, 平井みさ子, 伊勢一哉, 小野 滋, 佐藤智行, 小倉 薫, 杉藤公信, 脇坂宗親, 本多昌平, 杉山正彦, 菱木知郎, 仲谷健吾, 脇坂宗親, 近藤知史, 上原秀一郎, 上松瀬新, 木下義晶, 日本小児外科学会悪性腫瘍委員会. 小児固形悪性腫瘍の予後追跡調査結果の報告 2001~2005 年登録症例について. 日本小児外科学会雑誌 49 : 1131-1159, 2013.

[III] 原 著

A) 英文

- 1) Iehara T, Hamazaki M, Tajiri T, Kawano Y, Kaneko M, Ikeda H, Hosoi H, Sugimoto T, Sawada T; Japanese Infantile Neuroblastoma Cooperative Study Group. Successful treatment of infants with localized neuroblastoma based on their MYCN status. Int J Clin Oncol 18: 389-395, 2013.
- 2) Kohashi K, Nakatsura T, Kinoshita Y, Yamamoto H, Yamada Y, Tajiri T, Taguchi T, Iwamoto Y, Oda Y. Glypican 3 expression in tumors with loss of SMARCB1/INI1 protein expression. Hum Pathol 44: 526-533, 2013.
- 3) Kimura O, Furukawa T, Higuchi K, Takeuchi Y, Fumino S, Aoi S, Tajiri T. Impact of our new protocol on the outcome of the neonates with congenital diaphragmatic hernia. Pediatr Surg Int 29: 335-339, 2013.
- 4) Fumino S, Higuchi K, Aoi S, Furukawa T, Kimura O, Tajiri T. Clinical analysis of liver fibrosis in choledochal cyst. Pediatr Surg Int 29: 1097-1102, 2013.

- 5) Teshiba R, Tajiri T, Sumitomo K, Masumoto K, Taguchi T, Yamamoto K. Identification of a KEAP1 germline mutation in a family with multinodular goitre. PLoS One 28: e65141, 2013
- 6) Hiyama E, Ueda Y, Onitake Y, Kurihara S, Watanabe K, Hishiki T, Tajiri T, Ida K, Yano M, Kondo S, Oue T; Japanese Study Group for Pediatric Liver Tumor. A cisplatin plus pirarubicin-based JPLT2 chemotherapy for hepatoblastoma: experience and future of the Japanese Study Group for Pediatric Liver Tumor (JPLT). Pediatr Surg Int 29: 1071-1075, 2013.
- 7) Rumbajan JM, Maeda T, Souzaki R, Mitsui K, Higashimoto K, Nakabayashi K, Yatsuki H, Nishioka K, Harada R, Aoki S, Kohashi K, Oda Y, Hata K, Saji T, Taguchi T, Tajiri T, Soejima H, Joh K. Comprehensive analyses of imprinted differentially methylated regions reveal epigenetic and genetic characteristics in hepatoblastoma. BMC Cancer 13: 608, 2013.

B) 和文

- 1) 古川泰三, 木村 修, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 田尻 達郎. 当院における遅発性先天性横隔膜ヘルニア症例の検討. 日本小児外科学会雑誌 49 : 975-980, 2013.
- 2) 田川晃司, 長村敏生, 大前禎毅, 久保 裕, 河辺泰宏, 平尾多恵子, 長谷川雅文, 木戸脇智志, 東道公人, 小林奈歩, 久保樹里, 清沢伸幸, 文野誠久, 田尻達郎. 当科初診の腸間膜リンパ管腫の3例. 京都第二赤十字病院医学雑誌 34 : 58-65, 2013.
- 3) 坂本謙一, 家原知子, 杉本 哲, 古川奈央子, 大内一孝, 鍋島加名栄, 桑原康通, 土屋邦彦, 徳田幸子, 大久保智治, 安尾忠浩, 北脇 城, 山岸正明, 古川泰三, 文野誠久, 小野 滋, 岩井直躬, 細井 創. 胎児超音波検査と胎児 MRI が有効であった新生児腫瘍性疾患の4例. 日本小児血液・がん学会雑誌 50 : 125-129, 2013.
- 4) 東道公人, 大野邦彦, 吉野ラモナ, 大前禎毅, 渡部玉蘭, 長村敏生, 井川 理, 泉 浩, 小野 滋, 岩井直躬, 清沢伸幸. 思春期に慢性 S 状結腸軸捻転症と診断された2症例. 日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌 27 : 36-41, 2013.

[IV] 学会発表

A) 国際学会

- 1) Higuchi K, Kimura O, Kimura K, Furukawa T, Fumino S, Aoi S, Tajiri T. What is the appropriated treatment option for different types of lymphangioma?: 25 years experience in a single center. 45th Annual Meeting of Pacific Association of Pediatric Surgeons. 2013 Apr 7-11; Hunter Valley, Australia.
- 2) Kimura O, Furukawa T, Higuchi K, Takeuchi Y, Fumino S, Aoi S, Tajiri T. The way to shorten the postoperative intubation period in neonates with congenital diaphragmatic hernia. International CDH Symposium/Workshop. 2013 Jun 9-11; Rotterdam, Netherlands.
- 3) Fumino S, Kimura O, Furukawa T, Aoi S, Higuchi K, Iehara T, Hosoi H, Tajiri T. Clinical features and surgical intervention of primary mediastinal tumors in children: a 25-year single institution experience. 45th Congress of the International Society of Paediatric

Oncology. 2013 Sep 25-28; Hongkong, China.

B) 特別講演, 招聘講演, 基調講演, 教育講演など

- 1) 田中 桜. 厚生労働省における難病対策の改革. 学長主催セミナー 2013年9月13日; 京都
- 2) 田尻達郎. 乳児神経芽腫の治療の変遷と展望 (マススクリーニング検査の功罪) 関東小児がん研究会 2013年3月1日; 東京.
- 3) 田尻達郎. 小児がんにおけるトランスレーショナルリサーチ. 佐賀大学大学院特別講義 2013年6月10日; 佐賀.
- 4) 田尻達郎. 小児がん. 日本癌治療学会教育講演 2013年10月26日; 京都.
- 5) 田尻達郎. 小児がん拠点病院における小児外科医の役割. 小児がん拠点病院記念研修会 2013年3月22日; 京都.
- 6) 田尻達郎. 小児がんに対する外科治療 —QOLを重視した手術—. 小児がん相談支援事業「子どもたちの未来のために」～小児がん拠点病院指定記念府民公開講座～ 2013年3月25日; 京都.
- 7) 田尻達郎. QOLを重視した小児外科手術. 岐阜大学腫瘍外科外科疾患治療セミナー特別講演 2013年12月13日; 岐阜.
- 8) 田尻達郎. 神経芽腫治療の変遷と今後. 自治医科大学大学院特別講義 2013年12月4日; 栃木.

C) 座長

- 1) 田尻達郎. 特別講演セッション. 第15回京滋小児外科フォーラム 2013年2月15日; 京都.
- 2) 田尻達郎. 要望演題「小児がん研究の現状と未来」第50回日本小児外科学会学術集会 2013年5月30日; 東京.
- 3) 木村 修. 国際ポスターセッション Gastrointestinal Tract 1. 第50回日本小児外科学会学術集会 2013年5月30日; 東京.
- 4) 田尻達郎. 一般演題小児1. 第193回近畿外科学会 2013年6月22日; 大阪.
- 5) 青井重善. 腹部・消化管1. 第49回日本小児外科学会近畿地方会 2013年8月24日; 大阪.
- 6) 田尻達郎. セッション9腫瘍. 第33回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会 2013年10月25日; 東京.
- 7) 文野誠久. ポスター10 神経芽腫-3. 第55回日本小児血液・がん学会学術集会 2013年11月29日; 福岡.
- 8) 田尻達郎. 招請講演. 第55回日本小児血液・がん学会学術集会 2013年12月1日; 福岡.

D) シンポジウム, ワークショップ, パネルディスカッションなど

- 1) 文野誠久, 樋口恒司, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 土屋邦彦, 家原知子, 細井 創, 田尻達郎. Cancer board を中心とした小児がん集学的治療における小児外科医の役割. 【シンポジウム; 難治性小児がんの集学的治療における小児外科医の役割】第113回日本外科学会定期学術集会 2013年4月13日; 福岡.

E) 一般講演 (ポスター発表を含む)

- 1) 文野誠久, 木村 修, 古川泰三, 青井重善, 土屋邦彦, 家原知子, 小西英一, 細井 創, 田尻達郎. 6ヶ月未満の乳児期腎腫瘍の臨床的特徴について. JWITs 研究会 2013年1月27日; 東京

- 2) 坂井宏平, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 田尻達郎. Dor 噴門形成術 31 例の治療成績. 第 43 回日本小児消化管機能研究会 2013 年 2 月 9 日; 久留米.
- 3) 千葉史子, 文野誠久, 青井重善, 樋口恒司, 古川泰三, 木村 修, 田尻達郎, 北村綾香, 土屋邦彦, 家原知子, 細井 創, 山岸正明. 上大静脈腫瘍塞栓を伴う縦隔巨大胚細胞腫瘍の 1 例. 第 15 回京滋小児外科フォーラム 2013 年 2 月 15 日; 京都.
- 2) 竹内雄毅, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 田尻達郎. 胎内感作ミルクアレルギーが疑われた一新生児例. 第 69 回小児外科わからん会 2013 年 3 月 9 日; 大阪.
- 3) 千葉史子, 文野誠久, 青井重善, 樋口恒司, 古川泰三, 木村 修, 田尻達郎. 腸捻転を来した腸間膜リンパ管腫の 2 例. 第 49 回日本腹部救急医学会総会 2013 年 3 月 13 日; 福岡.
- 4) 木村 修, 文野誠久, 古川泰三, 樋口恒司, 千葉史子, 青井重善, 田尻達郎. 全腸管型無神経節症の長期生存例の問題点とその対応. 第 25 回日本小腸移植研究会 2013 年 3 月 15 日; 福岡
- 5) 木村 修, 古川泰三, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎. Intact Survival を目指した新生児横隔膜ヘルニアに対する治療戦略. 第 113 回日本外科学会定期学術集会 2013 年 4 月 12 日; 福岡.
- 6) 古川泰三, 木村 修, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎. 当院における胆道閉鎖症に対する治療方針と術式の変遷. 第 113 回日本外科学会定期学術集会 2013 年 4 月 13 日; 福岡.
- 7) Kimura O, Furukawa T, Higuchi K, Fumino S, Aoi S, Tajiri T. Should small size CPPV be left or ligated in laparoscopic inguinal hernia in children? 第 50 回日本小児外科学会学術集会 2013 年 5 月 30 日; 東京.
- 8) 坂井宏平, 木村修, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎. 噴門形成術における anterior wrapping と posterior wrapping の治療成績の検討. 第 50 回日本小児外科学会学術集会 2013 年 5 月 30 日; 東京.
- 9) 樋口恒司, 木村 修, 古川泰三, 青井重善, 文野誠久, 田尻達郎. 13/18trisomy 児に対する小児外科医の役割. 第 50 回日本小児外科学会学術集会 2013 年 5 月 31 日; 東京.
- 10) 古川泰三, 木村 修, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎. 当院における先天性横隔膜ヘルニア術後生存例の長期予後に対する検討. 第 50 回日本小児外科学会学術集会 2013 年 5 月 31 日; 東京.
- 11) 千葉史子, 文野誠久, 青井重善, 樋口恒司, 古川泰三, 木村 修, 山岸正明, 中野 宏, 北村綾香, 土屋邦彦, 家原知子, 細井 創, 野村明孝, 田尻達郎, 上大静脈腫瘍塞栓を伴う縦隔悪性胚細胞腫瘍に対して体外循環下腫瘍切除を施行した 1 例. 第 50 回日本小児外科学会学術集会 2013 年 5 月 31 日; 東京.
- 12) 石川翔一, 古川泰三, 岡島英明, 文野誠久, 樋口恒司, 青井重善, 木村 修, 幸道和樹, 中島久和, 田尻 達郎. 下血と低血糖症状を契機に診断された先天性門脈欠損症に対する生体肝移植. 第 50 回日本小児外科学会学術集会 2013 年 5 月 31 日; 東京.
- 13) 金 聖和, 樋口恒司, 木村 修, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 土屋邦彦, 家原知子, 細井 創, 田尻達郎. 右胸壁合併切除を要した肋間筋原発滑膜肉腫の一例. 第 50 回日本小児外科学会学術集会 2013 年 5 月 31 日; 東京.
- 14) 竹内雄毅, 木村 修, 古川泰三, 文野誠久, 樋口恒司, 青井重善, 田尻達郎. 腹壁破裂及び破裂性臍帯ヘルニアの治療成績と周術期管理の工夫. 第 50 回日本小児外科学会学術集会 2013 年 5 月 31 日; 東京.

- 15) 文野誠久, 樋口恒司, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 田尻達郎. 先天性胆道拡張症における肝線維化症例の臨床的検討. 第 50 回日本小児外科学会学術集会 2013 年 6 月 1 日; 東京.
- 16) 木村幸積, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 田尻達郎. 化学療法中 Febrile neutropenia(発熱性好中球減少症)時における急性虫垂炎の検討. 第 50 回日本小児外科学会学術集会 2013 年 6 月 1 日; 東京.
- 17) 若尾純子, 樋口恒司, 木村 修, 文野誠久, 古川泰三, 田尻達郎. 新生児・乳児期に胸腔鏡下横隔膜縫縮術を施行した横隔膜弛緩症の 2 例. 第 50 回日本小児外科学会学術集会 2013 年 6 月 1 日; 東京.
- 18) 笹栗由貴, 木村 修, 樋口恒司, 若尾純子, 古川泰三, 青井重善, 文野誠久, 家原知子, 細井 創, 田尻達郎. 頸部アプローチで全摘可能であった頸部縦隔脂肪芽腫の 2 例. 第 50 回日本小児外科学会学術集会 2013 年 6 月 1 日; 東京.
- 19) 文野誠久, 田尻達郎. 小児における非拡張型膵胆管合流異常の臨床的特徴およびその手術手技についての検討. 第 25 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2013 年 6 月 12 日~14 日; 宇都宮.
- 20) 笹栗由貴, 樋口恒司, 木村 修, 古川泰三, 青井重善, 文野誠久, 若尾純子, 田尻達郎. 遷延する呼吸障害にて発見された巨大頸部縦隔脂肪芽腫の 1 例. 第 193 回近畿外科学会 2013 年 6 月 22 日; 大阪.
- 21) 若尾純子, 文野誠久, 青井重善, 樋口恒司, 古川泰三, 木村 修, 石丸敦史, 松尾憲典, 近江園善一, 田尻達郎. 反復する横行結腸捻転の 1 例. 第 16 回京滋小児外科フォーラム 2013 年 7 月 5 日; 京都.
- 22) 若尾純子, 樋口恒司, 木村 修, 茂原慶一, 鍋島加名栄, 徳田幸子, 田尻達郎.胎便性腹膜炎術後管理中に腸管気腫症を発症した低出生体重児の一例. 第 49 回日本周産期・新生児医学会 2013 年 7 月 14 日; 横浜.
- 23) 樋口恒司, 木村 修, 若尾純子, 小谷牧, 木原美奈子, 田尻達郎. 食道閉鎖症を伴った先天性乳糜胸に対して胸腔鏡下胸管結紮術を施行した一例. 第 49 回日本周産期・新生児医学会 2013 年 7 月 14 日; 横浜.
- 24) 木村 修, 樋口恒司, 若尾純子, 田尻達郎. 当科における出生前診断された横隔膜ヘルニアに対する治療戦略と成績. 第 49 回日本周産期・新生児医学会 2013 年 7 月 14 日; 横浜.
- 25) 古川泰三, 木村 修, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎. 骨格変形症例における腹腔鏡下噴門形成・胃瘻造設術の工夫. 第 6 回鏡視下手術手技研究会. 2013 年 8 月 23 日; 京都.
- 26) 高山勝平, 千葉史子, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 田尻達郎. 吸気性喘鳴にて発症した頸部気管支原性嚢胞の 1 例. 第 49 回日本小児外科学会近畿地方会 2013 年 8 月 24 日; 大阪.
- 27) 富樫佑一, 千葉史子, 文野誠久, 樋口恒司, 青井重善, 古川泰三, 西垣 勝, 田尻達郎. 先天性巨大エプーリスの一例. 第 49 回日本小児外科学会近畿地方会 2013 年 8 月 24 日; 大阪.
- 28) 笹栗由貴, 文野誠久, 曾我美朋子, 古川泰三, 若尾純子, 樋口恒司, 青井重善, 木村 修, 田尻達郎. 特殊な形態を認めた Gross A 型(術前診断)食道閉鎖の 1 例. 第 70 回小児外科わからん会 2013 年 9 月 28 日; 大阪.
- 29) 曾我美朋子, 富樫佑一, 高山勝平, 笹栗由貴, 千葉史子, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 田尻達郎. 膵切除施行なしに加療した外傷性膵損傷 III b 型の一例. 第 29 回日本小児外科学会秋季シンポジウム 2013 年 10 月 26 日; 東京.

- 30) 千葉史子, 木村幸積, 文野誠久, 青井重善, 樋口恒司, 古川泰三, 木村 修, 山岸正明, 中野 宏, 家原知子, 細井 創, 田尻達郎. 巨大縦隔胚細胞腫瘍に対する外科治療戦略. 第 33 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会 2013 年 10 月 25 日; 東京.
- 31) 木村幸積, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 田尻達郎. 当科における小児気道異物の診断治療戦略. 第 24 回日本小児呼吸器外科研究会 2013 年 10 月 25 日; 東京.
- 32) 青井重善, 木村 修, 古川泰三, 樋口恒司, 文野誠久, 坂井宏平, 田尻達郎. 低位鎖肛に対する CutBack 術後に Posterior sagittal anorectoplasty(PSARP)を施行した症例の検討. 第 70 回直腸肛門奇形研究会 2013 年 10 月 25 日; 東京.
- 33) 文野誠久, 樋口恒司, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 家原知子, 細井 創, 田尻達郎. 縦隔原発神経芽腫群腫瘍における外科治療戦略. 第 55 回日本小児血液・がん学会学術集会 2013 年 11 月 29 日; 福岡.
- 34) 笹栗由貴, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 家原知子, 細井 創, 田尻達郎. 外科的切除が可能であった巨大頸縦隔脂肪芽腫の 2 例. 第 55 回日本小児血液・がん学会学術集会 2013 年 11 月 29 日; 福岡.
- 35) 木村幸積, 千葉史子, 文野誠久, 青井重善, 樋口恒司, 古川泰三, 木村 修, 山岸正明, 中野 宏, 家原知子, 野村明孝, 細井 創, 田尻達郎. 縦隔巨大胚細胞腫瘍の外科的治療戦略. 第 55 回日本小児血液・がん学会学術集会 2013 年 11 月 30 日; 福岡.

[V] 獲得研究費等

A) 文部科学省科学研究費

- 1) 田尻達郎 (代表): 基盤 C (継続) 『トランスジェニックマウスを用いた小児がんに対する新規免疫遺伝子治療法の開発』
- 2) 田尻達郎 (分担): 基盤 A (継続) 『小児肝がん研究グループによるアジア地域の小児肝がん調査と国際共同研究基盤整備』
- 3) 田尻達郎 (分担): 基盤 A (新規) 『小児固形悪性腫瘍の非侵襲的診断と新規治療開発のためのトランスレーショナルリサーチ』
- 4) 田尻達郎 (分担): 基盤 B (継続) 『腫瘍スフェア形成機構の網羅的・遺伝的解析によるがん幹細胞特異的療法の開発』
- 5) 田尻達郎 (分担): 基盤 C (継続) 『MYCN トランスジェニックマウスを用いた神経芽腫新規分子標的治療の開発』
- 6) 文野誠久 (代表): 基盤 C (新規) 『神経芽腫病期 4s の iPS 細胞疾患モデルによる同時多発・自然退縮メカニズムの解析』

B) 厚生労働省科学研究費

- 1) 田尻達郎 (代表): がん臨床研究 『小児がん拠点病院を活用した臨床研究基盤のあり方及び新規治療開発に関する研究』
- 2) 田尻達郎 (分担): 難治性疾患等克服研究事業 『小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成』
- 3) 田尻達郎 (分担): がん研究開発費 『網羅的解析による神経芽腫の標的分子・機構の同定と臨床・

分子情報データベース基盤構築』

- 4) 木村 修 (分担) : 難治性疾患等克服研究事業『胎児・新生児肺低形成の診断・治療実態に関する調査研究』

[VI] その他

*田尻達郎. 京都府立医科大学 九大医学部同窓会誌 学士鍋 166 : 18-19, 2013